



国際医療福祉大学
市川病院
病院長

角田 亘

国際医療福祉大学市川病院は、2017年9月に本学附属病院として新たにスタートして以来、職員一同が診療内容のさらなる充実とレベルアップに努めており、外来診療・急性期医療のみならず、リハビリテーション医療を含めた慢性期医療を広く地域の皆様にご提供しています。

外来診療では、いかなる症状の患者様に対しても専門的診療を行っています。整形外科では専門的手術が行われ、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病・代謝・

内分泌内科などでは患者様お一人おひとりに応じた診療を行っています。夜間休日も救急患者様に対応し、担当医師が診察を行います。回復期リハビリテーション病棟では、本学保健医療学部を卒業した多くのリハビリテーション療法士が、専門医とともに質の高いリハビリテーションをご提供し、訪問リハビリテーションや通所リハビリテーション(デイケア)も行っています。

このたび当院では、神経難病センターを開院いたしました。これに伴い、脳卒中、頭痛、めまい、しびれなどに対する脳神経内科の外来診療を強化します。パーキンソン病やALS(筋萎縮性側索硬化症)などの神経難病患者様に対しては、短期入院のうえで、定期的な精査やリハビリテーションを行います。

さらには、2020年3月に開院した本学成田病院はじめ本学グループ関連施設と連携をとりながら、医師、看護師、医療福祉専門職の教育を行い、多くの人材を育てる一方、世界に向けて研究成果を発信していきます。

当院が最もめざしていることは、「地域の皆様の、末永き健康と幸せな生活」です。「地域の皆様に、大学病院の名に恥じぬ本邦最高レベルの医療を、真心を込めてお届けしたい」との思いで、職員一同、これからも尽力いたします。いつでも、どんなことでもお気軽にご相談ください。皆様にとって、「かかりつけ医のような大学病院」でありたいと思っています。

何卒一層のご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

プロフィール 東京慈恵会医科大学卒、医学博士。前国際医療福祉大学市川病院副院長・リハビリテーション科部長、元国際医療福祉大学三田病院リハビリテーション科副部長、元東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座准教授。日本リハビリテーション医学会認定指導医・リハビリテーション科専門医、日本神経学会認定指導医・神経内科専門医、日本脳卒中学会認定脳卒中専門医、日本内科学会認定内科医、日本抗加齢医学会認定抗加齢医学専門医。



国際医療福祉大学市川病院